

No.2 2001年4月発行

淀川水系 流域委員会 委員会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第2回委員会の内容……………P.1
- 第2回委員会の当日配布資料より……………P.4
- 第2回委員会 記者説明会……………P.7
- 第3回委員会開催のお知らせ……………P.7
- 第1回琵琶湖、淀川、猪名川部会開催のお知らせ……………P.8
- ◇淀川水系流域委員会について……………P.9
- ◇委員会委員リスト……………P.11
- ◇当日資料の閲覧・入手方法……………P.12



平成13年4月12日(木)、第2回委員会が開かれました。

第2回委員会の内容

委員22名のうち17名が出席し、審議が行われました。委員会では、河川管理者から河川整備計画の策定の流れや、淀川水系の現状についての説明があり、淀川水系流域委員会の今後の進め方や、当面の作業準備についての審議が行われました。

第2回委員会の主な審議内容は以下の通りです。

淀川水系流域委員会 第2回委員会 審議骨子

1. 委員長代理、部会長代理について

委員長代理は各部長の川那部委員、寺田委員、米山委員が交代で務める。
部会長代理は、琵琶湖部会が江頭委員、淀川部会が栴屋委員、猪名川部会が池淵委員に決定した。

2. 河川整備計画の原案審議について

河川整備計画策定にあたって、現状、課題、対応を共有化した上で、河川管理者が河川整備計画原案を作成し、流域委員会の原案への意見を踏まえて整備計画案を決定して行く。

3. 今後の進め方について

第1回委員会で各委員から出された意見を踏まえ、審議を進めて行く。
全体及び当面の概略スケジュールに示す通り、委員会、部会を開催する。開催日時は、委員の希望も聞きながら調整する。
5月7日開催予定の猪名川部会を次々週に延期する。
審議体制案の通り、委員長、部会長(委員長代理)、部会長代理による運営会議を各回の委員会の前に実施する。

4. 淀川水系の現状と課題

河川管理者より、淀川水系の治水、利水、環境について現状説明があった。
治水、利水、環境の内、テーマを絞って次回から議論する。
琵琶湖の水位上昇に伴う諸問題については、琵琶湖部会で総合的な立場から早急に議論を行なう。
主な意見は次のとおり
ーダムだけでなく、森林を含む流域の土地利用など様々な要素を考慮して、洪水対策を考える。また、洪水時の問題を全員で共有した上で、対策を考える。
ー河道容量については、土砂の移動、洪水による縦断形状の変化についても考える必要がある。
破堤の原因として、越水だけでなく洗掘、浸透による破堤についても、次回詳しく説明を行なう。

5. 当面の準備作業について

(委員会と部会の位置付け)

地域特有の問題の議論は部会で行ない、委員会で審議を行なう。

(住民懇談会の設置について)

住民懇談会のテーマや方法については部会で議論し、委員会で決定する。

主な意見は次のとおり

- ー住民は多様であり、御用聞きのように出かけて行く必要もある。また、メンバーを固定するのではなく、それぞれの場所で行なう。
- ー本委員会の規約で住民意見を聴くことを位置付けていることから、河川法での位置付けとは区別すべきである。
- ー住民懇談会のイメージが共通ではなく、開催を組織的に義務付けるなど最初から固定的に考える必要はない。住民懇談会を住民の意見を聴取するという言い方に改めた方が良い。
- ー河川管理者としては、住民懇談会への同席や住民意見の聴き方なども委員会審議の結果に従う。また、住民懇談会を住民意見聴取の場として位置付けると判断されればそれを尊重する。
- ー淀川部会は範囲が広いので、木津川、桂川、淀川に分けて考えるべきである。
- ー住民意見聴取方法の汎用モデルをこのような委員会の場でつくる必要がある。
- ー無関心な人への啓発、川だけでなくまちづくりなど他の要素と合わせて関心を高め、聴取を行なう必要がある。
- ー20～30年先の河川整備を考えるのであれば、子ども達、若い人達の意見を聴くことが重要である。イベントなども入れながら、より多くの方から意見を聴く仕組みも考えるべきである。

(委員会、部会の開催場所について)

委員会は京都駅周辺で開催、部会の開催場所は各部会で決定する。

(広報の方法について)

ニュースレターの配布先は、委員の方から紹介いただくなど拡張する。
市町村への広報も考える。

6. 会場との意見交換

日本野鳥の会でも月1回定例会を開いているので、委員の方にも現場を見てもらいたい。また、自ら住民の意見聴取を行なった実績もあり、お手伝いすることもできる。
複数の部会で合同部会を開催することを考える。

7. その他

次回委員会は、6月18日(月)18:00～20:00に開催する。
次回委員会での河川管理者からの説明内容は運営会議で決定する。次回部会は、各流域の現状と問題について河川管理者が説明する。

以上



配布資料リスト

資料名		作成主体
資料1	河川整備計画策定の流れ	河川管理者
資料2-1-1	委員意見等のとまめ結果	庶務
資料2-1-2	淀川水系の現状説明	河川管理者
資料2-1-3	前広日程調整結果	庶務
資料2-2-1	全体の概略スケジュール案	庶務
資料2-2-2	当面の概略スケジュール案	庶務
資料2-2-3	審議体制案	庶務
資料3-1	住民懇談会(仮称)の設置案	庶務
資料3-2	開催場所等の案	庶務
資料3-3	広報の方法、体制案	庶務
参考資料1	議事録No.1～4 (設立会 / 第1回委員会 / 部会設立会 / 第1回合同懇談会)	庶務
参考資料2	2 / 5 発送資料へのご回答	庶務
参考資料3	2 / 15 発送資料へのご意見、ご要望	庶務
参考資料4	第2回委員会への意見	庶務
参考資料5	庶務とのやりとり記録	庶務
————	河川環境情報図(淀川・宇治川・桂川・木津川下流)	河川管理者

紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP.12の「資料の入手方法」をご覧ください。ただし、「河川環境情報図」は閲覧のみ可能です。

第2回委員会の当日配布資料より

「淀川水系の現状説明(資料2-1-2)」より抜粋

「淀川水系の河川概要」

1. 淀川水系の河川概要

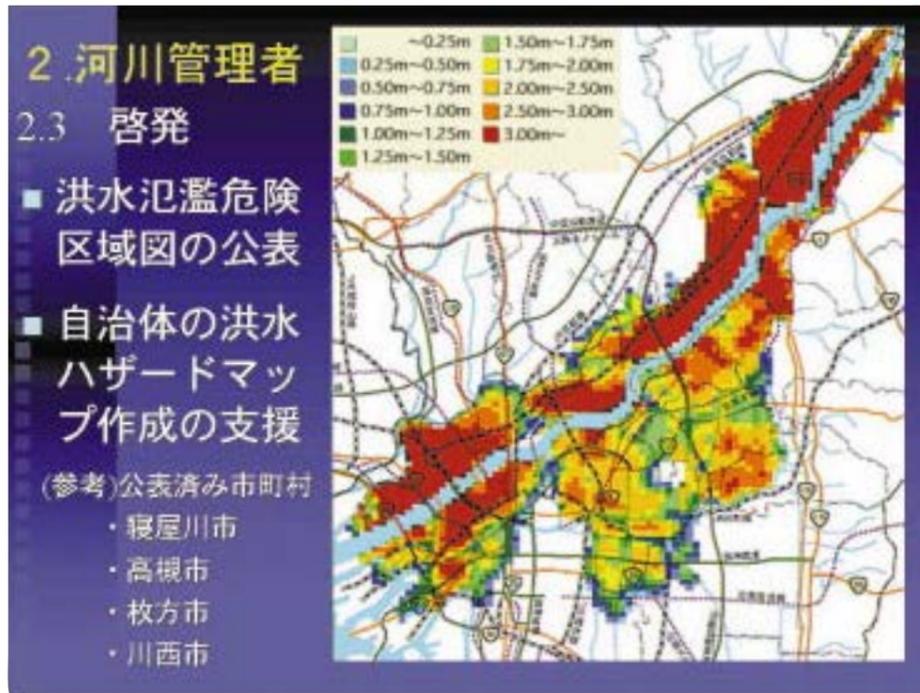
- 上流部には琵琶湖があります。
- (効果：洪水低減、常時水量の豊かさ)
- 中流部には狭窄部があります。
- 下流部には大都市・大阪・京都があります。
- 3支川が1箇所合流します。

1. 淀川水系の河川概要

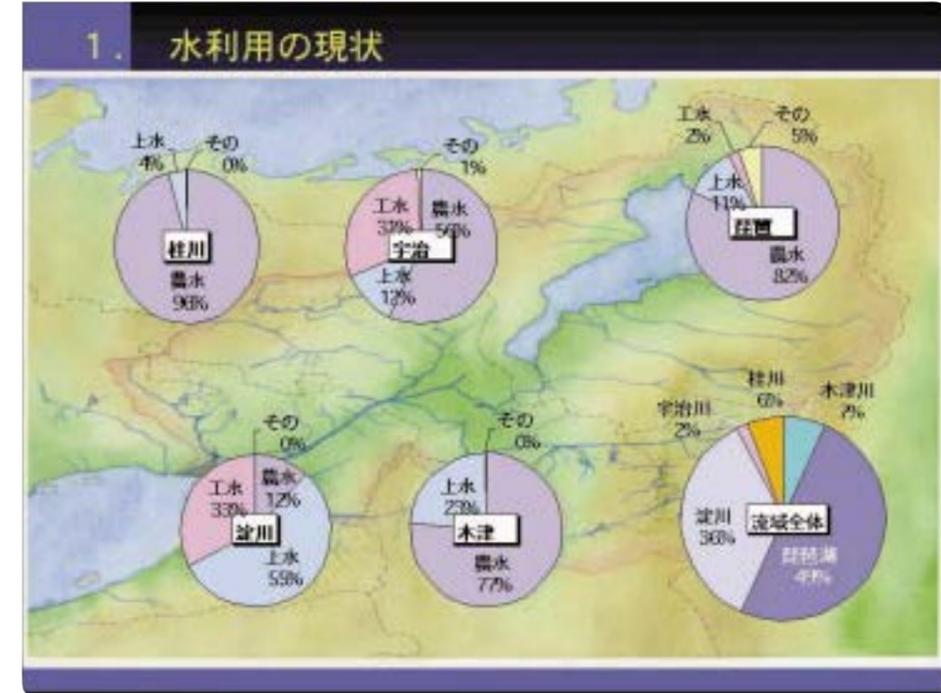
治水一「越水破堤、洗掘・浸透により破堤が生じる可能性のある区間」



治水一「出水時の対応(洪水氾濫危険区域図の公表)」



利水一「淀川水系の水利用の概要」



環境一「生物の現状把握」



第2回委員会 記者説明会

委員会終了後、審議骨子が取りまとめられ、芦田委員長、川那部琵琶湖部会長、米山猪名川部会長、榎屋淀川部会長代理、江頭琵琶湖部会長代理の5名により、記者説明会が行われました。



第3回委員会開催のお知らせ

淀川水系流域委員会の第3回委員会が下記の通り開かれます。会場等の詳しい内容は、決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

第3回委員会

日時:平成13年6月18日(月) 18:00~20:00
場所:京都駅周辺を予定しています。

第1回琵琶湖、淀川、猪名川部会開催のお知らせ

淀川水系流域委員会の第1回琵琶湖部会、淀川部会、猪名川部会が下記の通り開かれます。傍聴をご希望の方、もしくは各部会へのご意見等をいただける方は、電子メールまたはFAXで庶務までお申し込みください(FAXでお申し込みの場合は、別紙のFAX送信票をお使いください)。ただし会場の都合により、応募者多数の場合は抽選とさせていただきますので、予めご了承下さい。

第1回琵琶湖部会

日時:平成13年5月11日(金) 17:00~19:00
場所:ロイヤルオークホテル 地階「オーキッドホール」
滋賀県大津市萱野浦23番1号
TEL:077-543-0111
・JR京都駅~石山駅13分。石山駅より車で8分
(JR石山駅北口からシャトルバスあり)

第1回淀川部会

日時:平成13年5月9日(水) 17:00~19:00
場所:ウェスティンホテル大阪 2階「ソノラ」
大阪市北区大淀中1-1-20
TEL:06-6440-1111
・JR大阪駅中央北口出口より徒歩9分
・阪急梅田茶屋町口より徒歩9分
・地下鉄御堂筋線梅田駅5号出口より徒歩9分

第1回猪名川部会

日時:平成13年5月23日(水) 18:00~20:00
場所:ザ・リッツ・カールトン大阪 2階「イースト」
大阪市北区梅田2丁目5番25号
TEL:06-6343-7000
・JR大阪駅桜橋出口より徒歩5分

今後の会議開催日程のお知らせについて

会議の開催日程が正式に決まりましたら、最新のニュースレターやホームページ等で、随時ご報告いたします。

淀川水系流域委員会について

設置の目的

平成9年の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて「河川環境の整備と保全」が法の目的に追加されました。また、これまでの「工事实施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、後者については、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きが導入されました。

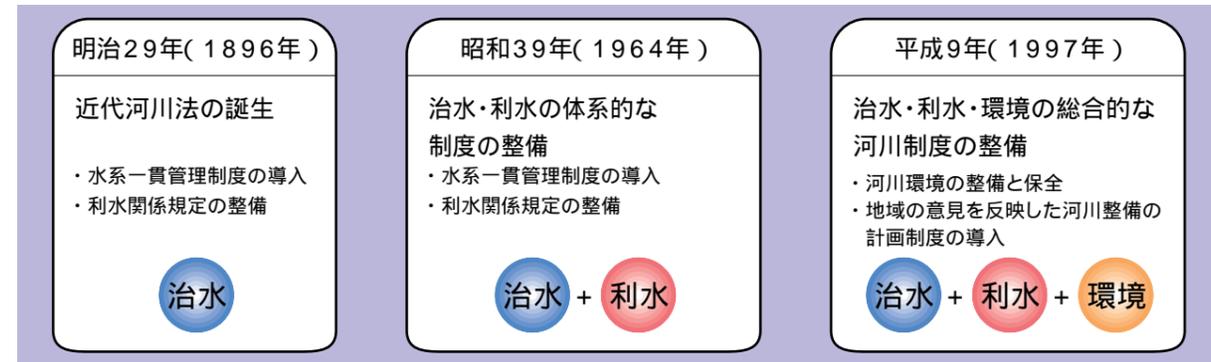
「淀川水系流域委員会」(以下流域委員会)は、淀川水系において「河川整備計画」について学識経験を有する者の意見を聴く場として、平成13年2月1日に近畿地方整備局によって設置されました。

流域委員会の役割

淀川水系流域委員会は主に次のような役割を持っています

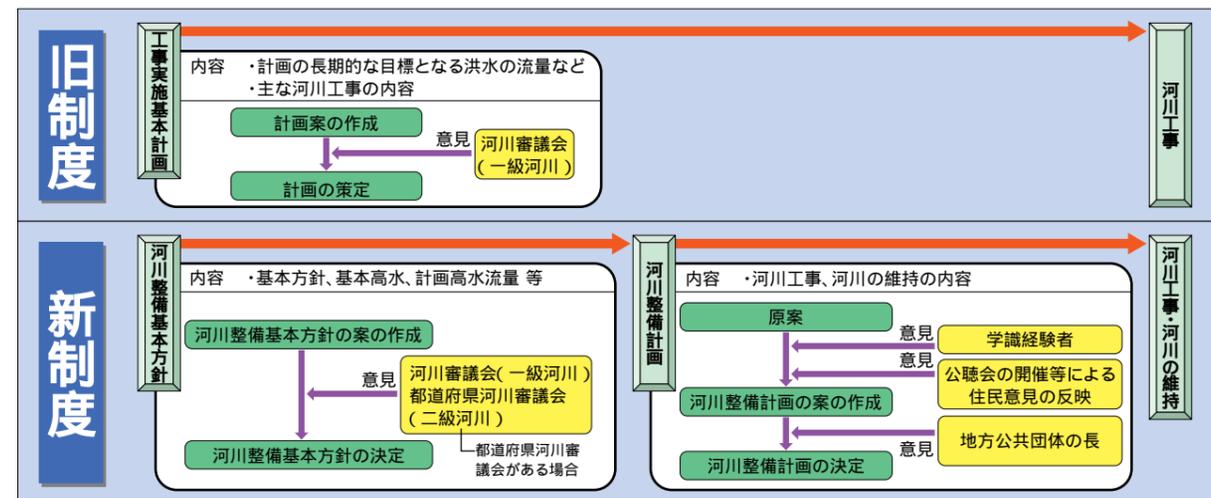
近畿地方整備局が策定する「淀川水系河川整備計画(直轄管理区間を基本)」に対して、意見を述べる。
関係住民の意見の反映方法について意見を述べる。

図 河川法改正の流れ



【近畿地方整備局資料より】

図 新しい河川整備の計画制度



【近畿地方整備局資料より】

流域委員会の構成

流域委員会は、次のような構成になっています。

- ・委員会と3つの部会(琵琶湖、淀川、猪名川)から構成されています。
- ・委員会委員の多くは部会委員を兼務しています。
- ・委員は、治水、利水、環境、人文、その他の幅広い分野から選出されているとともに、地域の特性に詳しい委員が委員会と各々の部会に4名以上選出されています。
- ・委員選出にあたっては、新聞・ホームページ・ニュースレター等での公募も行われました。

図 流域委員会委員の構成



図 淀川水系流域委員会と部会



【近畿地方整備局資料より】

流域委員会と準備会議

淀川水系流域委員会に先立ち、平成12年7月、淀川水系流域委員会準備会議(以下準備会議)が近畿地方建設局(現近畿地方整備局)によって設置されました。準備会議は、約半年にわたって、流域委員会のあり方(組織構成、委員、情報公開、住民意見の聴取方法など)について審議を行い、平成13年1月に答申を行いました。

委員会委員リスト

(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	備考
1	芦田 和男	河川環境一般	京都大学 名誉教授 財団法人 河川環境管理財団 研究顧問	-
2	池淵 周一	水資源(水文学、水資源工学)	京都大学防災研究所 所長	猪名川部会兼任
3	今本 博健	洪水防衛(河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授	淀川部会兼任
4	植田 和弘	経済	京都大学大学院経済学研究科 教授	-
5	江頭 進治	河道変動	立命館大学理工学部 教授	琵琶湖部会兼任
6	嘉田 由紀子	地域・まちづくり(環境社会学、文化人類学、住民参加論)	京都精華大学 教授 滋賀県立琵琶湖博物館 研究顧問	琵琶湖部会兼任
7	川上 聡	地域の特性に詳しい委員 (水環境保全ネットワーク・市民活動)	川の会・名張 事務局 近畿水の塾 幹事	淀川部会兼任
8	川那部 浩哉	生態系	京都大学 名誉教授 滋賀県立琵琶湖博物館 館長	琵琶湖部会兼任
9	倉田 亨	農林漁業	近畿大学 名誉教授	琵琶湖部会兼任
10	宗宮 功	水質(水質工学)	京都大学大学院工学研究科 教授	琵琶湖部会兼任
11	谷田 一三	動物(河川生態学、昆虫分類系統学)	大阪府立大学総合科学部 教授	淀川部会兼任
12	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員(当フォーラムづくりおよび広い分野の人のネットとそのコーディネイト)	川とまちのフォーラム・京都 世話役	淀川部会兼任
13	寺川 庄蔵	地域の特性に詳しい委員(自然・環境問題全般)	びわ湖自然環境ネットワーク 代表	琵琶湖部会兼任
14	寺田 武彦	法律	弁護士 日弁連公害対策・環境保全委員会 元委員長	淀川部会兼任
15	中村 正久	水環境(環境政策、環境システム工学)	滋賀県琵琶湖研究所 所長	琵琶湖部会兼任
16	尾藤 正二郎	マスマ	神戸親和女子大学文学部 教授	-
17	榎屋 正	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長	淀川部会兼任
18	水山 高久	治山・砂防	京都大学大学院農学研究科 教授	琵琶湖部会兼任
19	三田村 緒佐武	環境教育(水環境教育、生物・地球化学)	滋賀県立大学環境科学部 教授	琵琶湖部会兼任
20	吉田 正人	自然保護(自然保護、生態学)	財団法人 日本自然保護協会 常務理事	-
21	米山 俊直	水文化	京都大学 名誉教授 大手前大学 学長	猪名川部会兼任
22	鷲谷 いづみ	植物(植物生態学、保全生態学)	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	-

注:対象分野の()は委員の専門を示しています。

当日資料の閲覧・入手方法

紙面の都合上、ニュースレターでは資料内容を省略していますが、以下の方法で資料を閲覧、または入手することができます。

ホームページ

委員会で使用した資料は、ホームページで公開しております。アドレスは以下の通りです。

<http://www.yodoriver.org>



閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

郵送

郵送による資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております(希望部数が多い場合には、コピー代も実費でいただくことがありますので、予めご了承ください)。

ご希望の方は、別紙の「FAX送信票」にご記入のうえ、FAXまたは郵送で庶務までお申し込みください。

別紙

淀川水系流域委員会
ご意見用FAX送信票

FAX:06 - 6341 - 5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 安達、安藤、北林)

1. 淀川水系流域委員会へのご意見をご記入ください。

寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。

できましたら、ご意見の宛先もご記入ください(委員会、部会など)。

への意見

2 差しつかえなければ下記にご記入下さい。

団体・会社名()

ご住所(〒)

TEL()

お名前()

別紙

淀川水系流域委員会傍聴申込
および資料請求用FAX送信票

FAX:06 - 6341 - 5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 安達、安藤、北林)

1. 淀川水系流域委員会 第1回部会および第3回委員会への傍聴を希望される方は、該当する会議のチェック欄に✓をご記入下さい。

第1回 琵琶湖部会(5月11日開催)	
第1回 淀川部会(5月9日開催)	
第1回 猪名川部会(5月23日開催)	
第3回 委員会(6月18日開催)	

2. 第2回委員会の資料郵送を希望される方は、必要な資料の部数を、下記リストにご記入下さい。

資料名		部数
資料1	河川整備計画策定の流れ	
資料2-1-1	委員意見等のごまとめ結果	
資料2-1-2	淀川水系の現状説明	
資料2-1-3	前広日程調整結果	
資料2-2-1	全体の概略スケジュール案	
資料2-2-2	当面の概略スケジュール案	
資料2-2-3	審議体制案	
資料3-1	住民懇談会(仮称)の設置案	
資料3-2	開催場所等の案	
資料3-3	広報の方法、体制案	
参考資料1	議事録No.1~4 (設立会/第1回委員会/部会設立会/第1回合同懇談会)	
参考資料2	2/5発送資料へのご回答	
参考資料3	2/15発送資料へのご意見、ご要望	
参考資料4	第2回委員会への意見	
参考資料5	庶務とのやりとり記録	

3 下記にご記入下さい。(必ず ~ 全てにご記入下さい)

団体・会社名()

ご住所(〒)

TEL()

お名前(複数名での傍聴を申し込まれる場合には、全ての方のお名前をお書き下さい。)

淀川水系流域委員会 委員会ニュース No.2

2001年4月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

株式会社 三菱総合研究所 関西研究センター

研究員：新田、恩地、柴崎、原

事務担当：安達、安藤、北林

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル7F)

TEL:(06)6341-5983 FAX:(06)6341-5984

E mail:k-kim@mri.co.jp

流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

このニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局 / 淀川工事事務所 / 琵琶湖工事事務所 / 大戸川ダム工事事務所 / 淀川ダム統合管理事務所 / 猪名川工事事務所 / 猪名川総合開発工事事務所 / 木津川上流工事事務所 / 水資源開発公団 関西支社 / 滋賀県 土木交通部河港課 / 京都府 土木建築部河川課 / 大阪府 土木部河川課 / 兵庫県 土木部河川課 / 奈良県 土木部河川課 / 三重県 伊賀県民局

ニュースレターを追加でご希望の方は、淀川水系流域委員会庶務までお問い合わせください。(希望部数が多い場合は、費用をご負担いただくことがありますので、予めご了承ください)。